

2018年
第2回定例会

5カ年計画「3つのもり」 大型開発構想に亀裂

—(仮称)国際工芸美術館整備予算削除の修正案可決

*「3つのもり」—野津田公園“スポーツの森”、薬師池公園“四季彩の杜”、芹ヶ谷公園“芸術の杜”



芹ヶ谷公園内に整備が計画されている(仮称)町田市立国際工芸美術館・パース図

今補正予算(17億円)の特徴は大型開発優先であることです。「3つのもり」の開発に加えて、「モノレール延伸を前提にしたまちづくり」として、小田急町田駅とJR町田駅

モノレール延伸前提に 町田駅前大型再開発が

2018年第2回定例会が6月7日～29日の日程で開かれ、「平成30年度施政方針」が述べられました。日本共産党は、大型開発と市民犠牲の「行革」はやめて、中学校全員給食実施など市民の切実な要求実現を求めて論戦しました。大型開発優先の2018年度補正予算には討論をして反対しました。

日本
共産党

「大型開発やめ、市民の暮らし第二」へ 転換求め、補正予算に反対!

選ばれる自治体に」と施政方針で述べた石阪市長。選択制の中学校給食では、喫食率13%台と最下位です。小学校のような中学校全員給食の早期実施こそ必要ではないでしょうか。

公共交通であるモノレールの整備にも身近な公共施設の今後の在り方についても、市民の理解と合意が大前提です。「結論ありき」のまちづくりではなく、市民のみなさんとともに議論し、ともに築いていく市民本位のまちづくりが求められています。

モノレールも公共施設の在り方も、市民合意が大前提

前の大型再開発、ハコモノ建設の予算が組まれました。議員提出議案の修正案が可決し、(仮称)国際工芸美術館整備の関連予算が削除されました。福祉、教育を削り、大型開発優先の予算は市民の理解を得られません。

市民不在の公共施設再 編計画を策定、推進

「町田市公共施設再編計画」が6月策定されましたが、市民の声が反映されていません。市民不在で再編ありきの「計画」は、市民の立場で抜本的な見直しが必要です。文学館、博物館、鶴川図書館、さるびあ図書館は、請願趣旨に沿って存続すべきです。

同業他社以上というならば、 中学校全員給食実施を

「同業他社以上の行政サービスで

放課後等デイサービスの報酬改善実現に 共産党市議団奮闘

学校に通う障がい児が放課後通所する場所として整備された放課後等デイサービス。今年度から新基準に基づく報酬改定が行われることになりました。これまで一律だった事業所報酬が、支

援の必要性」によって障がいの重さを判定して、重いと判定された利用者が半数を超えないと報酬が大幅に引き下がり、事業所が存続できなくなると問題になっています。

再判定に基づく事業所区分で報酬増額に

町田市においても、当初聞き取りをせず判定を行ったため、児童の四分の三が軽度と判定されました。児童の実態とかけ離れていることや、多くの事業所の報酬が減って存続できなくなるこ

合わせが殺到して、市は再判定を行っていました。さらに、細野龍子市議が一般質問で、再判定に基づいた報酬が2018年度から支給されるように求めました。再判定によって重度の児童が増え、報酬が増額になり存続可能な事業所が増えます。

「障がい児童の放課後等デイサービス報酬改定の改善 求める意見書」(共産党提出)が可決

日本共産党は放課後等デイサービスの存続を脅かした制度改定を行った厚生労働省に対して、事業所の報酬削減にならないように「放課後等デイサービスの報酬改定に伴い『子どもの支援の必要性』に基づく公正な再判定を行

うよう通知を出すとともに、その結果に基づいて報酬請求できるよう対応を求める意見書」を提出。賛成多数で可決されました。

